

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	4	課題区分	C	令和4年(2025年)4月25日
横断的な課題	2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局
地域重点政策	2地域を支える産業のグレードアップ					
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	伝統的工芸品の価値・魅力の情報発信による販路拡大事業				電話	0268-25-7141
					E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	上田地域の伝統的工芸品の価値・魅力を広く一般の方に伝えるとともに、関心を持つファンを増やしていくことで販路拡大につなげる。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上田紬や農民美術の生産者は、製作体験等のワークショップや現在のライフスタイルのニーズに合った小物の販売等を行っているが、こうした取組や存在自体の一般の方の認知度が低い。そのため販路拡大に繋がっていない。 ・従事者の減少や燃料費の高騰によりコストが嵩んでおり、価格に見合った価値・魅力を広く発信していく必要がある。 ・令和6年度は、鹿教湯温泉でのイベント及び住宅展示場のモデルハウスにおいて、展示・製作体験によりPRを実施し、それぞれ374名、26名が来場。 				
内容 (変更後の内容)	<p>1 地域のイベントでの伝統的工芸品PRの実施 上田地域産業展(産業ミライエ in UEDA 2025(仮称))・上田城紅葉まつりに来場される方を対象に、伝統的工芸品の展示・製作体験を実施する。</p> <p>・実施内容 上田地域産業展での展示・製作体験の実施 ・期 日 令和7年10月31日、11月1日</p> <p>2 住宅展示場のモデルハウスでの伝統的工芸品の展示PRの実施 生活空間に取り入れた伝統的工芸品を見てもうため、モデルハウスに常設展示するとともに、広く周知するためのイベントを開催する。</p> <p>・実施内容 住宅展示場のモデルハウスでの伝統的工芸品の展示・イベントの実施 ・期 日 令和7年4月～令和8年3月</p> <p>3 伝統的工芸品の認知度向上に向けたワークショップの実施 大学生と連携し、伝統的工芸品に関する座学・製作体験や意見交換を通じて、若者のニーズを把握するとともに、若者視点のアイデアを活かした情報発信や販売促進、新商品の企画など新たな取組みにつなげる。</p> <p>・実施内容 上田紬生産者の工房において、座学・製作体験及び意見交換の実施 ・期 日 令和7年8月～令和8年3月</p> <p>4 飲食店等での伝統的工芸品の展示PRの実施 一般の方に広く周知するため、ワイン等を扱う飲食店等で伝統的工芸品の展示や実際に使用してもらう取り組みを実施する。</p> <p>・実施内容 上田地域の飲食店等での伝統的工芸品の展示の実施</p>					
	事業期間	令和7年(2025年)4月 ～ 令和8年(2026年)3月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	地域のイベントでの伝統的工芸品PRの実施	展示・製作体験の実施	345,500	<ul style="list-style-type: none"> ・講師報償費192,000 (@3,200*5h*2日*6人) ・製作体験材料費32,000 (上田紬10,000、農民美術10,000、花火12,000) ・ノベルティ用材料費50,000(@100*500個) ・会場使用料71,500 		
	住宅展示場のモデルハウスでの伝統的工芸品の展示PRの実施	展示・イベントの実施	192,000	<ul style="list-style-type: none"> ・講師報償費 192,000 (@3,200*5h*6人*2回) 		
	伝統的工芸品の認知度向上に向けたワークショップの実施	大学生を対象とした座学・製作体験、意見交換の実施	19,200	<ul style="list-style-type: none"> ・講師報償費 19,200 (@3,200*3h*2人) 		
飲食店等での伝統的工芸品の展示PRの実施	展示の実施	0				
合 計			556,700			

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	地域のイベントでの出展ブースの来場者数	200人		○ 達成
	モデルハウス等の展示品のSNS投稿件数	100件		○ 一部達成
	伝統的工芸品の認知度向上につながるアイデア件数	3件		○ 未達成
事業実績・成果				
今後の方向性				